

(4) ②様式第4号-2 (報告書)

※文字のフォント、大きさは Meiryo UI /12ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

NITS・教職大学院等	実施機関名・連携機関名 島根大学・島根県教育委員会／鳥取県教育委員会
コラボ研修プログラム	テーマ： 若手教員の育成・支援を推進するミドルリーダー教員研修 —対面／非対面を併用したハイブリッド型研修における学びのあり方の検討—
支援事業報告書	研修等名： 【NITS・島根大学コラボ研修】「若手教員の育成・支援を推進するミドルリーダー教員研修」(前期日程)
	開催日時：令和3年8月18～20、23～24日8時30分～17時15分 開催場所：島根大学教育学部附属山陰教員研修センター（島根県松江市大輪町416-4）【オンライン開催】 参加人数（総数）と参加者の属性：27人（学校教員21人、教育委員会等6人）

内容： ※全体発表の内容をテープ起こしするなど、具体的に記載してください。研修等の様子は、写真を右に貼り付けてください。

実施した研修の日程は右の表の通りである。各日 100 分×4コマの研修に加えて、30 分の自己研修の時間を設定した。それぞれの時間の具体的な内容は以下の通りである。

18日(水) 午前：開講式・オリエンテーションに加えて、派遣元の島根県教育委員会・鳥取県教育委員会の担当者より、受講者に対する本研修の学びの位置づけについて研修を実施した。その後、オンライン研修の受講に必要な技術に関する研修を実施した。

18日(水) 午後：効果的な探究的な学びをテーマとして講義を実施した。資質・能力はどのように育つのかの理論と自己調整学習者を育成するための学びのサイクルを扱った。

19日(木) 午前：今求められる授業のあり方、教師が学び合いながら授業改善に取り組み、若手の授業力を向上させる授業研究の持ち方について講義し、受講生同士でポイントを出し合い確認した。

19日(木) 午後～20日(金) 午後：課題設定演習を実施した。システム思考を用いて問題の構造分析を行い、レバレッジポイントを見極めた上で、ゴールに向かって進むための打ち手を設定した。中期の研修で実践状況を報告することを確認した。

23日(月) および 24日(火)：各日程では、それぞれの観点の専門家に講師を依頼し、最先端の教育の動向や改革について具体的な事例を交えながら、研修を実施して頂いた。

各日の自己研修：個人研修（ワークシートへの記入：15分）に加えて、5人グループで各日の研修の学びを共有した。

成果： ※参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。

◆研修終了後のアンケートでは、満足（「満足した」「だいたい満足した」と回答）した者の割合は95%であった。

◆受講者の学びの一例は以下の通りであった。（受講者のワークシートより抜粋）

「（報告書執筆者注：18日の研修を受けて）本校の講師の知りたいことや聞きたいこと、ケース別の対応など、学びたいことのニーズをまずは聞き取り、どのような育成ができる考えたい。可能であれば、若手を集めて話をしたり、ワークする時間ができれば良いと思っている。」など勤務校での具体的な取り組みに繋がりたいという記述が多くみられた。

アイデアや工夫したこと： ※3～5つ程度の箇条書きしてください。

・新型コロナウイルス感染症の影響等によって集合実施が困難な場合は、遠隔実施に切り替える準備を事前に行っていたこと。

・初日に山陰両県教育委員会の指導主事による講習を設定することで、本研修での学びの位置づけを明確にしたこと

・オンラインに不慣れな受講者が多いことから、本研修の受講に必要な技術を習得する時間を初日に設定した。

<写真・図など> ※会場の熱気や規模がわかる写真、参加者の表情がわかる写真（寄って撮影またはトリミング）を撮影してください。

表 日程表

(前期)				
8/18(水)	8/19(木)	8/20(金)	8/23(月)	8/24(火)
集合⇒遠隔			遠隔	
1 8:30～10:35 【8:30～9:00】 開講式・オリエンテーション(研修の趣旨説明) 【9:15～10:35】 『山陰の教育』の紹介 「これからの山陰の教育とミドルリーダーに期待すること」 鳥根県教育庁教育指導課地域教育推進室 室長 中村 裕 山陰教員研修センター	1 8:30～10:10 『本業を貫く学校づくり』 『教育改善のための理論と方法』 「教師が学び合う授業研究・授業づくり」 鳥根大学大学院 教育学研究科 講師 松尾 奈美 山陰教員研修センター	★前期認定講習 「現状の問題整理」 海士町役場人づくり特命担当 ひと・学び・連携づくりジェネレーター 豊田庄吾 鳥根大学大学院 教育学研究科 准教授 中村 裕 学内教員(ファシリテーター) 山陰教員研修センター	★校内体制づくり/働き方改革の推進 「働く人と組織が元気になるマネジメントの方法と働き方改革」 株式会社 ソフィアクロスリンク 代表取締役社長 廣田 拓也 オンライン実施	★教育改善のための理論と方法 「多様な学びのあり方と授業デザイン」 東北学院大学 文学部 教授 福垣 忠 オンライン実施
2 10:45～12:05 『本校内体制づくり/働き方改革の推進』 「オンライン学習システムの活用方法」 鳥根大学 教育学部 講師 津多 成輔 山陰教員研修センター	★本業を貫く学校づくり 『教育改善のための理論と方法』 「教師が学び合う授業研究・授業づくり」 鳥根大学大学院 教育学研究科 講師 松尾 奈美 山陰教員研修センター	★前期認定講習 「課題の設定」 海士町役場人づくり特命担当 ひと・学び・連携づくりジェネレーター 豊田庄吾 鳥根大学大学院 教育学研究科 准教授 中村 裕 学内教員(ファシリテーター) 山陰教員研修センター	★校内体制づくり/働き方改革の推進 「働く人と組織が元気になるマネジメントの方法と働き方改革」 株式会社 ソフィアクロスリンク 代表取締役社長 廣田 拓也 オンライン実施	★教育改善のための理論と方法 「多様な学びのあり方と授業デザイン」 東北学院大学 文学部 教授 福垣 忠 オンライン実施
昼休憩 (12:05～13:00)				
3 13:00～14:40 『★教育改善のための理論と方法』 「総合的な学習における『探究的な学び』の意義～子どもたちの資力を伸ばす効果的な学びをいかに実践するか～」 鳥根大学大学院 教育学研究科 准教授 中村 裕 山陰教員研修センター	★前期認定講習 「課題設定の意義・方法」 海士町役場人づくり特命担当 ひと・学び・連携づくりジェネレーター 豊田庄吾 鳥根大学大学院 教育学研究科 准教授 中村 裕 学内教員(ファシリテーター) 山陰教員研修センター	★前期認定講習 「課題の設定」 海士町役場人づくり特命担当 ひと・学び・連携づくりジェネレーター 豊田庄吾 鳥根大学大学院 教育学研究科 准教授 中村 裕 学内教員(ファシリテーター) 山陰教員研修センター	★地域連携 「コミュニティデザインからみた『学校』～学校と地域の創造性を高めるために～」 東北芸術工科大学 デザイン工学部 准教授 岡崎 エミ オンライン実施	★教育改善のための理論と方法 「『教育×テクノロジー』で培う『自ら学ぶ力』～自己調整学習を促進するために～」 東京立大学 大学教育センター 教授 松田 岳士 オンライン実施
4 14:55～16:35 『★教育改善のための理論と方法』 「総合的な学習における『探究的な学び』の意義～子どもたちの資力を伸ばす効果的な学びをいかに実践するか～」 鳥根大学大学院 教育学研究科 准教授 中村 裕 山陰教員研修センター	★前期認定講習 「VISION作り」 海士町役場人づくり特命担当 ひと・学び・連携づくりジェネレーター 豊田庄吾 鳥根大学大学院 教育学研究科 准教授 中村 裕 学内教員(ファシリテーター) 山陰教員研修センター	★前期認定講習 「課題の設定」 海士町役場人づくり特命担当 ひと・学び・連携づくりジェネレーター 豊田庄吾 鳥根大学大学院 教育学研究科 准教授 中村 裕 学内教員(ファシリテーター) 山陰教員研修センター	★地域連携 「コミュニティデザインからみた『学校』～学校と地域の創造性を高めるために～」 東北芸術工科大学 デザイン工学部 准教授 岡崎 エミ オンライン実施	★教育改善のための理論と方法 「『教育×テクノロジー』で培う『自ら学ぶ力』～自己調整学習を促進するために～」 東京立大学 大学教育センター 教授 松田 岳士 オンライン実施
5 16:45～17:15 『自己研修に関する説明と移動』 自己研修 (復習・意見交換・予習) 山陰教員研修センター	5 16:45～17:15 自己研修 (復習・意見交換・予習) 山陰教員研修センター	自己研修 (復習・意見交換・予習) 専任連絡 前期集合研修からのチェックアウト 山陰教員研修センター	自己研修 (復習・意見交換・予習) オンライン実施	自己研修 (復習・意見交換・予習) オンライン実施



図 参加者の様子 (8月20日)